

★★ The Future We Want

Name: 青山 裕季

Age: 11

Date: 5/7

ぼくは、日本に住んでいて青山裕季という名前
 です。また、ごく普通の小学六年生で、今はまだ
 十一歳です。いきなりですが本題に入ろうと思います。
 ぼくが望む未来は「生き物がたくさんいる未来です。
 「生き物がたくさんいる」というのは、個体数が多いとい
 う意味でもあり、種数が多いという意味でもあります。
 まだ今はぼくが住んでいる日本だけでなく、世界中
 環境問題が起っています。これは、人々が工業を
 発達させて、便利な製品をつくらせたことが原因で
 有害な物質が発生したからです。また利益を得るために
 捨てる製品をつくり、捨てられた製品を燃やすときに
 有害な物質が発生したからです。有害な物質によって、
 生物に悪影響が及びました。たとえば、人間だと、
 死んでしまう人がいましたし、他の生物だと、絶滅して
 しまうものもでてしまいました。だから、今生き物は
 減ってきてしまっています。このことの一つの原因は、
 先ほどにも述べた通り、物を燃やすこと、つまりゴミを
 燃やすことが挙げられます。だから、ぼくは

***** The Future We Want

企業が、長持ちする製品をつくればいいと思います。
しかし、製品をつくるときに有害な物質を発生させて
ばっては、環境問題は悪くなるばかりですだから、
有害な物質が発生しないようにすればいいと思
いますか、難しいと思いますだからまずは、
みんながでできることをやるべきだと思います。
そしてそれが「物を大切にすることだ」と
思います。自分達にでできることをすれば、きっと
環境問題が悪化するのを止められる力に
なると思います。また、これは、ぼくの望む未来、
つまり「生き物がたくさんいる未来」にき、と
つながると思います。生き物が減ってはった
原因は人間だと考えられます。つまり人間は
生き物を傷つけてはまっていた人です。
傷つけてしまった責任はもうとれないかもしれません。
でも、「生き物を大切にすること」は
少しでもつぐないにつながると思います。だから、
これから人間は生き物を大切にすべきだと思います。
「大切にすること」は、むやみに傷つけずに「愛する」
ことだと思います。今まで人間は、生き物を自然を守るという

***** The Future We Want

過保護になってしまい結果的には環境を破壊して
しまい、「生き物や自然」を守れていなかたから、もう
守る」ことはなくていいと思いたすでも、もちろん、
むやみに傷つけている人がいたが、守るべきだと思
いたす。また、このようなことはぼくの望む、

生き物がたくさんいる未来につながるはずだ。
ぼくかなぜこのような未来を望んだかという、
生き物がたくさんいると、生き物同士が助け合う、ことが
自然と多くなると思うからです。たとえば人間と犬は
助け合っています。人間を助ける役目を持った犬がいるし、
育てられてしまった犬を人間が育てあげています。
つまり生き物同士が、思いやりを持っている、ということだと思いたす。
また、人間が他の生物を思いやしているだけでなく、
人間が思われていていることも忘れてはいけなないと思
いたす。ぼくは前、困っているとき、友達に助けられたとき、ぼくは
すごく安心したし、うれしかたです。だから、生き物がたくさんいたら、
生き物同士が、互いを思いやったり、助け合ったりすることが
できると思いたす。だから、ぼくは「生き物が
たくさんいる未来」をつくりたいです。ぼくが
書いたことはあたり前かもしれないけど、ぼくはとても大切なと思いたす。